

第1学年 生活科【R6 授業】

【研究テーマ】令和5・6年度 清瀬小学校 校内研究

いのちの学習～教科横断的な6年間の学習プログラムの作成を通して～

- 1 ブロック目標「いのちプロジェクト低学年～いのちのあたたかさを実感する児童の育成～」
- 2 単元名「はなをさかせよう」
- 3 単元の目標
 - (1) 植物を継続的に栽培する活動を通して、育つ場所・成長の様子に関心をもって関わることができる。
 - (2) 植物は生命をもっていることに気づき、植物に親しみをもち大切にしようとする。

4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①植物との関わりを通して、その特徴、育つ場所、変化や成長の様子に気付いている。 ②植物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	①植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、成長の様子に関心をもって働きかけている。	①植物を継続的に栽培する活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとしている。

5 指導観

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年3月告示）第2章 各教科 第5節 生活から、主に下記の内容に基づき設定している。

- (7) 動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとする。

本校の教育目標を具現化する学校経営方針に「生き方を学ばせるキャリア教育の実践（いのちの学習の実践）」とある。「いのちの学習」において、1年生では「いのちのあたたかさ」を「いのちとの出会い」と捉え、児童が実感をもって学習できるようにしていく。

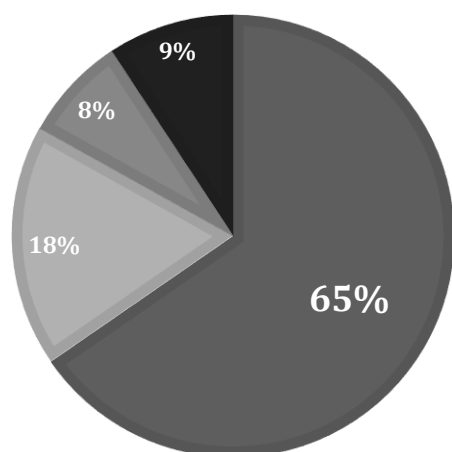
本単元では、アサガオの種まきや水やり、追肥、支柱立て等の活動に、子供たちを主体的・能動的に取り組ませる中で、自分の思いや願いを達成していく楽しさを味わわせながら、活動への意欲

を高めようとするものである。同時に、実際にアサガオに触れる等、諸感覚を働かせて関わったり、育て方を友達に聞いたり、図鑑で調べたりして世話ができるようになるとともに、アサガオは自分と同じように生命をもっていることや生長していることに気が付けさせようとするものである。また、これらの活動を通して、道具の正しい使い方や後始末の仕方を身に付けたり、自分自身のよさや成長に気付かせたりすることもねらっている。

(2) 児童観

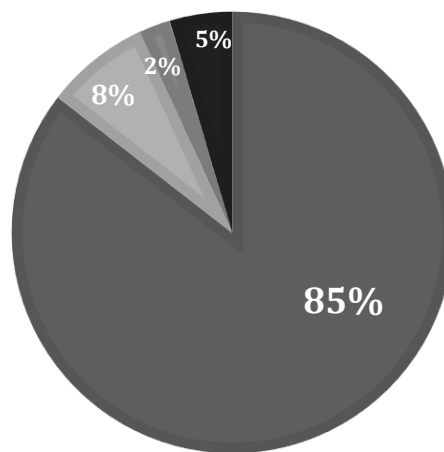
①自分にはよいところがあると思いますか。

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない



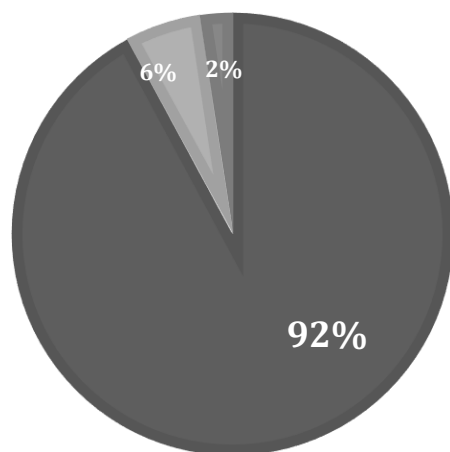
②将来の夢や目標がありますか。

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない



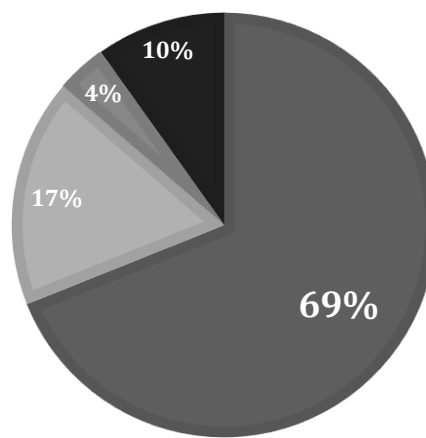
③いじめはよくないと思いますか。

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない



④植物や生き物をかわいいと思いますか。

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない



児童意識調査によると、③「いじめはよくないと思いますか」という質問に対し、98%の児童が「よくない」と回答し、普段の学校生活の様子からも、友達を大切にしたい、他人を傷付けてはいけないという思いが強いように感じられた。また、②「将来の夢や目標がありますか」という質問に対しても、90%以上の児童が肯定的な回答をしており、未来に希望をもって前向きに生活することができている児童が多いと考えられる。

一方、①「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に対しては、自信をもって「そう思う」と答える児童が65%と、1年生の段階としては低いように感じられる。年齢が上がるにつれてこの質問の肯定的な回答は減っていくと予想されるが、この時期から自身のことを肯定的に捉えられないと、今後もどんどん自己肯定感が低下してしまうと考えられる。このことから、自分の力で朝顔を世話し、育て、きれいな花を咲かせる経験をすることで、自分に自信をもつきっかけにさせたい。また、④「植物や生き物をかわいと思いますか。」という質問に対し、14%の児童が否定的な回答であった。日常の様子を見ても、「虫が怖くてトイレに入れない」と訴える児童がいたり、虫などの生き物が気持ち悪いという児童がいたり、生き物に対する思いは個人差が大きい。朝顔を育てる学習を通して、自分の朝顔に愛着をもち、「大きく育ててきれいな花をさかせてほしい」という思いが児童に芽生えるよう指導していきたいと考える。

(3) 教材観

アサガオは成長の変化や様子が捉えやすく、生長するにつれて多様な世話が必要となり、子供が様々な気付きを深めながら世話をすることができる植物である。夏には、数多くの花を咲かせ、色水遊びや押し花など、豊かに遊ぶこともできる。そして種を収穫する活動では、採れた種の数を数えたり、どのように活用したいかを考えたりする中で、一つの花から複数の種が取れることで、生命の連続性や不思議さに気付くことができると考えられる。道徳の時間とも関連を図りながら、生命との出会いを実感させたい。

6 単元の指導計画と評価計画

時	目標	○学習内容・学習活動	評価規準 (評価方法)	研究テーマとの関わり □いのちの あたたかさ
そだてる はなをき めよう 第1時～ 第2時	花をきれいに咲かせたいという思いをもって、育てたい花を決めることができる。	○育てる植物を決め、学習の見通しをもつ。 ・植物を育てた経験を話し合い、これから育てる植物を決める。 ・一人一人はアサガオを育て、学年で他の種類の花を育てる。 ・育てる種を観察し、気付いたことを紹介し合う。	イー② (発言 ・行 動)	□こんなに小さな種から、花が咲くのかと疑問を抱く。
たねを まこう 第3時～ 第4時	土づくりなどの準備をして、思いを込めて種をまくことができるとともに、自分なりに考えて、その様子を	○種まきを行い、花への思いを高める。 ・土の深さや間隔に気を付けて種をまき、水やりをする。 ・学年で育てる植物の種をまく。	イー② (発言 ・観察 カー ド) ウー①	□種も命の卵だということを意識し、大切にまく事を通して、花への思いを高める。

	絵や文で表現することができる。		(発言・行動)	
せわをしよう・せわをつづけよう 第5時～第7時 (本時)	世話をして発芽を待つことで花への思いを深めるとともに、発芽の仕方や子葉の形などに気付き、喜びとともに気付いたことを伝え合うことができる。 水やりや観察を通して、成長や変化に気付くことができる。 成長に応じた世話の仕方があることを知り、観察を基に考え、愛着をもって必要な世話をを行うことができる。	○植物の世話を通して、喜びや感動を共有する。 ・自分なりに工夫して関わり、世話をしていく中で、芽の出方や葉の様子を観察する。 ・本葉の数を数える、つるが伸びている様子など、以前と変わったところを見つけて、大きく成長した自分の植物の様子を観察する。 ・間引きした後にどうするかを相談し、家でも育てる計画を立てる。 ・成長した様子を発表し合い、成長した植物は、何をしてほしいかを考え、支柱を立てる、肥料を与える、水やりを増やすなどの計画を立てる。	アー① (発言・観察カード) イー①② (発言・観察カード)	□朝顔が成長する様子とともに感動し、喜びや感動の言葉を共有する。
さいたはなをたのしもう 第8時～第9時	自分が世話をしてきた植物の花が咲いた喜びを味わい、花を観察して特徴に気付いたり、植物に対して親しみを深め、花を使って思い出に残る作品を作ったりすることができる。	○開花の様子を見て、種まきの頃を振り返り、成長の喜びを感じる。 ・咲いた花の色や匂い、数を観察し、どのようにしたら咲いた花を残せるか考え相談する。 ・自分たちで考えた方法や教科書を参考にして、色水遊び、色水染め、たたき染や押し花などをする。	アー① (発言・観察カード) ウー①② (行動・発言)	□花が咲いたことを喜び、植物への愛着を高める。
たねをとろう 第10時	一粒の種からたくさんの種ができる不思議さや生命のつながりに気付くことができる。 土の中では根が伸びて、植物の成長を支えていたことに気付くことができる。	○一粒の種からたくさんの種ができたことや、生命のつながり、根も植物を支えていたことに気付く。 ・種の付き方を見ながら、よく観察する。 ・収穫したアサガオの種を、学年で育てた花の種と比べてみる。	アー①② (発言・行動)	□種によって生命がつながっていくことに気付く。
さくひんをつくろう 第11時～	育ててきた植物の種やつるなどで、思い出に残る作品を作ることができる。	○アサガオの成長してきた様子やそのときの気持ちを振り返る。 ・感謝の気持ちをもって、つるの活用を話し合い、リースやア	アー② (発言・行動) イー①	□植物には生命があり、世話を通して植物の一生に気付く。

第 14 時	<p>アサガオの種をどうしたいかを話し合い、考えることができる。</p> <p>生命のつながりをどのように活用していくか考えることができる。</p> <p>自身の成長にも気付き、次の栽培への見通しをもつ。</p> <p>アサガオを観察することを通して、植物にも自分達と同じ命があることを実感することができる。</p>	<p>クセサリーなど作りたいものを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育てた植物に感謝の気持ちを込めてカードや手紙を書く。 ・成長をどのように記録したいか話し合い、じゃばらおりの本や紙芝居などにする。 ・たくさんの種をどうしたいか話し合い、新1年生や家族、祖父母などにプレゼントする計画をたてる。 	<p>(発言 ・行動) ウー② (発言 ・行動)</p>	
--------	--	---	--	--

7 本時案 (14時間中7時)

(1) 本時の目標

- ・アサガオの成長を友達に伝えることができる。
- ・より成長するための意欲を高めることができる。

(2) 本時の展開

時間	○学習活動 ・児童の発言	・指導上の留意点 ☆評価規準 (方法)
導入 5分	<p>○今までの成長の様子を振り返る。</p> <p>「自分のアサガオの成長を友達に伝えましょう。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>㊦ アサガオのせいちょうをはなしあおう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・種から順に成長の様子をスライドで流す。
展開 ① 2 5 分	<p>○班で成長記録を伝え合う。</p> <p>例：アサ太郎です。つぼみがもうすぐ開きそうです。お気に入りポイントはかわいいつぼみです。</p> <p>○「ねがい」を書き足す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つぼみが早く開いてほしい。 ・花をたくさんつけてほしい。 ・もっと大きく育ててほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表が難しい児童には、話型を用意しておく。 ・アサガオを擬人化し、「弟や妹の成長を自慢する」ような気持ちで伝えられるように促す。 <p>☆自分が育てているアサガオの成長の様子を友達に伝えることができている。</p> <p>(発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「何がどうなってほしいのか」を具体的に書けるようにする。

<p>展 開 ② 5 分 ま と め 5 分</p>	<p>○「ねがいをかなえる方法」を班で相談する。</p> <p>○考えた方法を発表する。 「更に成長するためにどんなことができそうですか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水を1日2回あげる。 ・肥料を足す。 ・暑すぎる時は場所を変える。 <p>○学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1つにまとめる必要はないことを伝え、できるだけ児童の主体的な意見を尊重する。 ・班毎に発表することで、いろいろな方法を見出せるようにする。 <p>☆アサガオを更に成長させるための方法を具体的に考えることができた。 (発言・ワークシート)</p>
---	--	--

(3)板書計画

<p>7月4日</p> <p>㊦ アサガオのせいちょうをはなしあおう。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 400px; height: 150px; margin: 10px auto; text-align: center;"> <p>スライド</p> </div>	<p>☆ねがい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はなをたくさんさかせてほしい ・いろんないろのはながさいてほしい ・つぼみがひらいてほしい <p>☆ねがいをかなえるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みずを2かいあげる ・ひりょうをあげる ・ばしょをかえる
---	--

(4)授業観察の視点

- ・アサガオをより成長させたいという気持ちを高めることができたか。
- ・本時の活動は、「いのちのあたたかさ(=大切さ)」を実感させることにつなげるのに適切であったか。